

館林市では館林駅東側のまちの将来像を話し合い、まちづくりの方向性を示す未来ビジョンの策定を目指す取り組みを進めています。

その一環で、2024年11月23日と12月21日にワークショップを開催し、先日の建築講演会（2025年1月25日）で、成果アイデアを8人の高校生が発表しました。建築講演会は、館林旧市庁舎を設計した菊竹清訓建築設計事務所の元所員である伊東豊雄さんをお招きし、「菊竹清訓から学んだこと」をテーマに講演いただいたもので、講演後に行われた成果発表に対しても講評いただきました。

ご参加いただいた方、伊東さん、その他関係者の皆様、本当にありがとうございました。



発表の様子

伊東豊雄さんからの講評

発表した内容を実現するために、館林旧市庁舎に愛着を持つことが必要。愛着を持って、この場所で「自分たちで何かをやる」ということが大切。

「こういうのを作ったら良いと思います」ではなく、「こういうのを作ってくれたら、自分はこんなことを活動してみます」というモノの言い方（考え方）をしてもらいたい。

今回の発表で終わりではなく、発表したものを実現するためにどう繋げていくかということが大切。

高校生たちだけで考えるのではなく、まちの人たちを巻き込んで、みんなで積極的に考えてもらいたい。



伊東豊雄さん